

ひよこ新聞

春が早足でやって来ました。早足といっても遅い訪れですが…良い天気の日も多く、とても気持ちの良い季節ですね。まだわずかにインフルエンザが残っていますが、それも春休みが始まりもうすぐ収束すると思います。大きな病気の流行はなく、多くの子どもたちが春の訪れを楽しんでいることと思います。交通事故、自転車でのけがを気をつけましょう。



抗菌薬の適正な使用に向けて

4月から「小児抗菌薬適正使用支援加算」が開始になります。当院では今までも抗生物質は必要と思われる場合のみ（当たり前ですが）処方して来ましたが、主に溶連菌感染症、中耳炎、肺炎（マイコプラズマ）です。今後も今までと同じ診療を続けて行きます。

ん。しかしながら、HPVは広くまん延しているウイルスであり、公衆衛生的観点から、我が国では年間約10,000人の子宮頸がん罹患者とそれによる約2,700人の死亡者等を来す重大な疾患となっています。

HPVワクチンの効果について：HPVワクチンは新しいワクチンのため、がんそのものを予防する効果は現段階では

証明されていません。しかしながら、HPVの感染や子宮頸部の異形成を予防する効果は確認されており、その有効性は一定の期間持続することを示唆する研究が報告されています。子宮頸がんのほとんどは異形成を経由して発生することを踏まえると、最終的に子宮頸がんを予防できることが期待されます。

HPVワクチン導入のインパクト：海外の疫学調査では、HPVワクチン導入により、導入前後で、HPV感染率が51.7~62.6%減少し、また、子宮頸部異形成の頻度が47.0~59.2%減少したと報告されています。

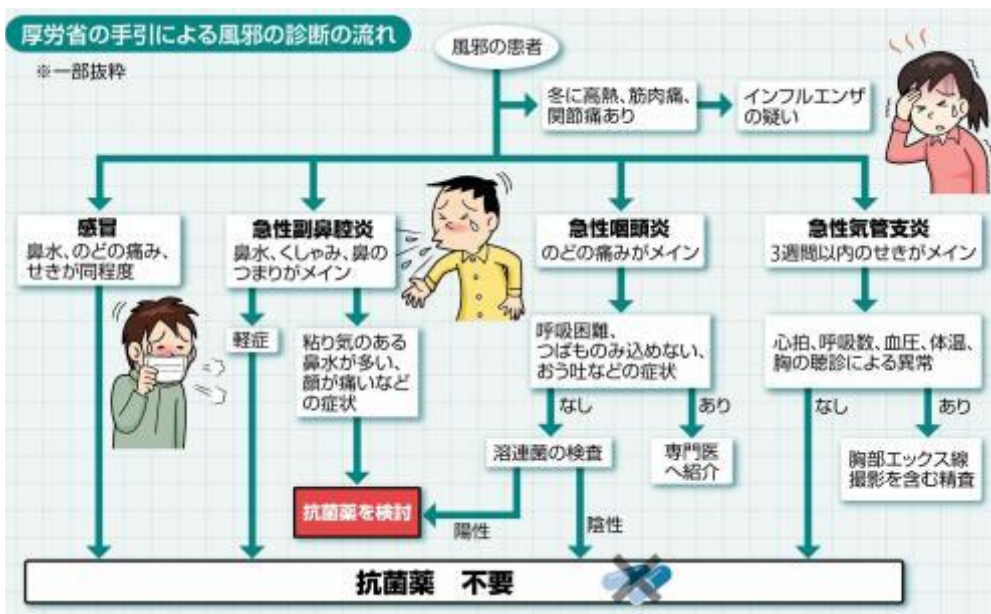
我が国における、HPVワクチンの効果推計：HPVワクチン接種により、10万人あたり859~595人が子宮頸がんになる

ことを回避でき、また10万人あた209~144人が子宮頸がんによる死亡を回避できる、と期待されます

ひよこ絵本館 374回

《なるなる なんになる？》

兄弟ができた上の子の複雑な気持ちを丁寧に描き出している絵本です。お姉ちゃんとして兄弟が可愛いから、たくさん変わっていく姿がわかります。すごく頑張っています。だけど上手くいかないときは悲しくなります。頑張っていること褒めて欲しいですね。みんなが赤ちゃんのことばかり見ていると淋しい気持ちでいっぱいになります。みんなで仲良くしたい上の子の揺れる心わかってください。お父さんお母さんに読んでもらいたい絵本です（Yすぎやま）



ひよこドクター：上の「風邪の診断の流れ」を見ても、風邪で抗生物質の投与の対象となるのは「中等症以上の急性副鼻腔炎」・「溶連菌による急性咽喉炎」です。一般的な風邪「感冒」、軽症急性副鼻腔炎、多くの急性咽喉炎には「抗生物質は不要」です。抗生物質を処方する場合も、ほとんどの場合でアモキシリン（AMPC）、当院の場合はワイドシリン、パセトシンが最初に選択されるべきとされています。

受けて欲しいワクチンHPVワクチン

HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）の有効性について（厚生省HPから）

子宮頸がんの発生とヒトパピローマウイルス(HPV)感染について：子宮頸がんについては、HPVが持続的に感染することで異形成を生じた後、浸潤がんに至るという自然史が明らかになっています。HPVに感染した個人に着目した場合、多くの感染者で数年以内にウイルスが消失し、数%しか持続感染-前がん病変のプロセスに移行せず、浸潤がんに至るのはさらにそのうちの一部です。さらに、子宮頸がん自体は、早期に発見されれば予後の悪いがんではありません

